



学校だより

横浜市立朝比奈小学校

令和3年10月29日

第7号



「はみがきカードをあつめて、
どういふふうになつているのかを見ってみました」

校長 神田 敏之

今回紹介する子どもは、右のような「はみがきカレンダー」を作りました。

夏休みに歯磨きカレンダーがあったほうがよいと考え、担任に相談をし、自分で作ることにしました。養護教諭の先生にもアドバイスを受けて自信作ができました。

これを印刷し、クラスでやってみたい子どもたちに配りました。

課題を自分で発見し、周りの助けを受けながらよりよいものを追求し、実行していくという姿が見られています。

さて、夏休み後の振り返りです。集めたカードを見て考えたことです。

- 1日に1、2回磨いた人が多かった
→「1日3回みがいたら塗る」じゃなくてもいいかもしれない。例えば1日で磨けたかどうか。
- 塗っていない（やっていない）人もいた
→毎日塗る必要がないのかもしれない

<感想>

作った時、毎日やってほしいと思っていた。でもお出かけなどでできない時もあった。わたしは毎日塗るのが難しかった。わたし以外にもこんな人はいると思う。自分で目標を決めてやるのがいいと思った。

自分でも試してみて、「1日3回」という課題の実行が難しいことを理解し、「自分に合った目標」を立てることがよいと振り返っています。

自分のしたことがどのようなであったか、改善点を見つけて次にどのようにしたらよいかまで考えています。次に歯磨きカレンダーを作るときには、自分の目標を書く欄を作ることでしょう。

このように問題を見つけ、問題解決に取り組み、したことを振り返り、次の課題につなげていくという学習の仕方を日々の学習や自主学習で育てていきます。

